

正解は2枚目にあります。

2018年3月23日  
JLTF 神奈川県支部ルール講習会

## ルールOxクイズ

1. トスはウォームアップの前にはルールで決まっている
2. サーブのためのトスをラケットで受け止めてしまったらフォールトになる
3. ダブルスで、セカンドサーブがネットポストに当たったらポイントを失う
4. 一振りでボールがラケットに2度当たってしまったら相手コートに返っても失点
5. セルフジャッジでアウトをすぐに訂正して入っていると認めてもポイントのやり直しはできない
6. プレー中にシューズが脱げてしまったらレットでやり直しになる
7. ダブルスでボールを追って走った勢いでネットポストにぶつかったときは失点する
8. ポイント終了後にボールを落としたのに気づき、それが2度目の落し物だとしたらその選手(又はチーム)は失点する
9. インプレー中コート内の邪魔になったボールをどけようとしてネットに掛けたら失点する
10. 相手にチャンスボールをあげてしまいぶつけられそうだから、大声でやめて！と叫んだら失点
11. 打球後に他からボールが入り、レットでプレーを止めたがそのボールがアウトした時は打った選手が失点する
12. ウォームアップの途中で雨が降り出して中断したが、その場で待機後すぐに再開することになった。この場合、トスの勝者は選択を変えることができる。
13. 相手のサーブ前にコート上にあるボールをどけてもらうよう頼んで時間がかかってしまったら相手のファーストサーブになっても仕方がない
14. ダブルスの試合でタイブレーク中に間違ったサイドで2本続けてレシーブしてしまった。次にレシーブするときは正しいサイドに直すべきである
15. プレーヤーのアウトのコールに、ロービングアンパイアがフェンスの外から「コレクション、明らかに入ってます」と言ったがこのオーバールールは無効である。
16. ダブルスでアプローチショットを打ったプレーヤーがパートナーに「出たよ！ロブケア！」と大声で叫び、相手のプレーを止めてしまったら失点する
17. ジュニアの試合で、一本しかないラケットのストリングを切ってしまったらそのラケットでそのままプレーしてもよい
18. サーブ後ネットダッシュした拍子に帽子が脱げた場合、自分でレットをかけてやり直しにできる
19. サービスのレットをサーバー側がコールしたら、レシーバーの同意がなければ失点する
20. 筋ケイレンでも大会の公式トレーナーから手当てを受けることは可能である
21. 怪我した足が痛くなり試合をやめたいときは相手選手に断ればリタイアすることができる
22. シングルスでリタイアした場合同日のそのあとのダブルスに出場することはできない

## ルールクイズ

2018ルールブック該当カ所

1. ○ トスはウォームアップの前にはルールで決まっている P.12 規則9
2. X サーブのためのトスをラケットで受け止めてしまったらフォルトになる P.16 規則19(ケ-ス1)
3. ○ ダブルスで、セカンドサーブがネットポストに当たったらポイントを失う P.15 規則19(C)
4. X 一振りでボールがラケットに2度当たってしまったら相手コートに返っても失点 P.20 規則26(ケ-ス1)
5. X セルフジャッジでアウトをすぐに訂正して入っていると認めてもポイントのやり直しはできない P.62 (17)
6. X プレー中にシューズが脱げてしまったらレットでやり直しになる P.55 (Q13)
7. ○ ダブルスでボールを追って走った勢いでネットポストにぶつかったときは失点する P.17 規則24(9)
8. X ポイント終了後にボールを落としたのに気づき、それが2度目の落し物だとしたら  
その選手(又はチーム)は失点する P.61(9)
9. X インプレー中コート内の邪魔になったボールをどけようとしてネットに掛けたら失点する P.20 規則26(ケ-ス4)
10. ○ 相手にチャンスボールをあげてしまいぶつけられそうだから、大声でやめて!と叫んだら失点 P.62(16)
11. ○ 打球後に他からボールが入り、レットでプレーを止めたがそのボールがアウトした時は打った  
選手が失点する (P.195.11)  
P.54(Q11)
12. X ウォームアップの途中で雨が降り出して中断したが、その場で待機後すぐに再開することになった。  
この場合、トスの勝者は選択を変えることができる。 P.12 規則9(ケ-ス)
13. X 相手のサーブ前にコート上にあるボールをどけてもらうよう頼んで時間がかかってしまったら相手の  
ファーストサーブになっても仕方がない P.16 規則21
14. X ダブルスの試合でタイブレーク中に間違ったサイドで2本続けてレシーブしてしまった。  
次にレシーブするときは正しいサイドに直すべきである P.20 規則27(e)
15. X プレーヤーのアウトのコールに、ローピングアンパイアがフェンスの外から「コレクション、明らかに入ってます」  
と言ったがこのオーバールールは無効である。 P.63(14)C
16. ○ ダブルスでアプローチショットを打ったプレーヤーがパートナーに「出たよ!ロブケア!」と大声で叫び、  
相手のプレーを止めてしまったら失点する P.62(16)・P.195.11
17. ○ ジュニアの試合で、一本しかないラケットのストリングを切ってしまったらそのラケットでそのまま  
プレーしてもよい P.10 規則4(ケ-ス4)・P.144(28)
18. X サーブ後ネットダッシュした拍子に帽子が脱げた場合、自分でレットをかけてやり直しにできる P.61(9)
19. X サービスのレットをサーバー側がコールしたら、レシーバーの同意がなければ失点する P.61(14)b
20. ○ 筋ケイレンでも大会の公式トレーナーから手当てを受けることは可能である P.141
21. X 怪我した足が痛くなり試合をやめたいときは相手選手に断ればリタイアすることができる P.190.5(4)
22. X シングルスでリタイアした場合同日のそのあとのダブルスに出場することはできない P.134.16